

通夜・葬儀・告別式のマナー

通夜は本来、遺族や親族が故人の死を悼むものですが、現在では告別式に参列できない人が出席するケースが増えています。また、葬儀は故人の成仏を祈るための儀式、告別式は最後のお別れをする儀式とされていますが、今は同時に行われるケースがほとんどです。いずれも定刻より早めに着くようにしましょう。

1 ▶▶ 会場内でのマナー

会場に着いたら、受付を済ませます。会葬帳に記帳し、香典があればここで手渡します。席順が決まっている場合は、案内に従って着席します。会場内では私語を慎み、知人に会ってもあいさつを交わす程度にとどめましょう。ほかにも携帯電話の電源を切るなど、遺族の気持ちに配慮した行動を取りましょう。

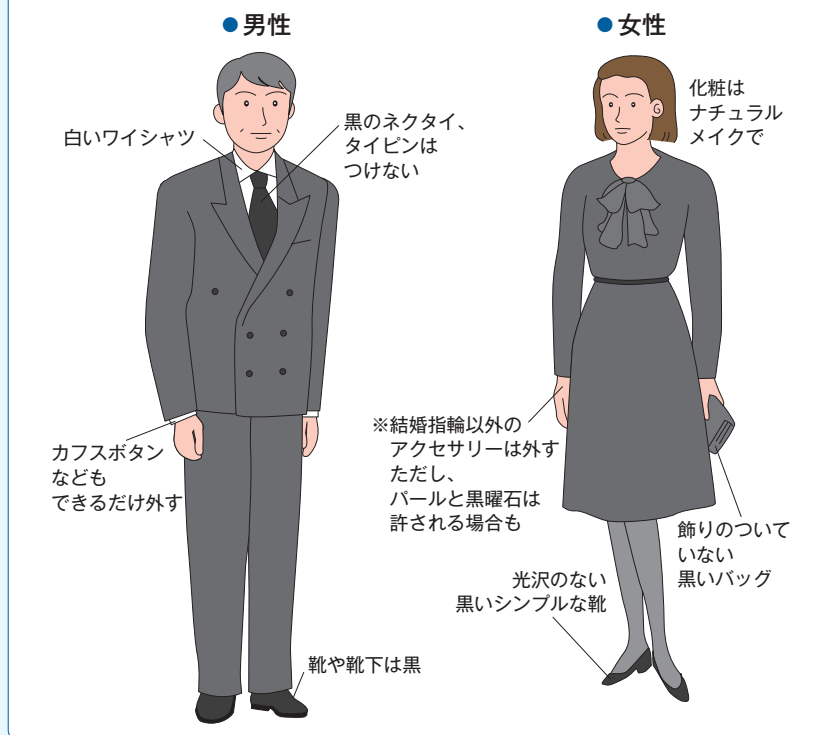
2 ▶▶ あいさつやお悔みの言葉

受付で記帳を済ませたあと、「このたびはご愁傷様です」とあいさつを述べ、香典は表書きを相手に向けて差し出します。遺族にあいさつをしたい場合は、簡単に済ませましょう。

3 ▶▶ 通夜・葬儀に出席する際の服装

通夜は正式な喪服ではなく平服で構いませんが、カジュアルになり過ぎないように心掛けましょう。男性は紺やグレーのスーツに黒ネクタイ、女性は地味な色とデザインの洋服が一般的です。葬儀は男女ともに、できるだけ喪服で参列するようにしましょう。

平服で通夜や葬儀に参列する場合



日産労連の「葬儀共済」

「葬儀共済」とは、万一の際に、全国共通の葬儀の基本セットを低廉かつ明瞭な金額でご提供し、電話1本で全国の加盟葬儀社をご紹介させていただく制度です。

●制度運営会社 (株)全国儀式サービスのホームページ

●スマホ・携帯版ホームページもあります!

全国儀式サービス

検索

<http://www.gishiki.co.jp>

ユーザー名: gishiki

パスワード: members

葬儀支援サービスの内容や全国の加盟葬儀社・斎場が検索できます。

葬儀のご手配、事前のご相談

24時間365日対応



0120-421-493